山梨県 Yamanashi Prefecture

取材のご案内

YAMANASHI

報道関係者各位

令和８年８月　日
山梨県産業政策部産業振興課　課長　山本　聡一郎
TEL:055-223-1543　FAX:055-223-1547

日本を代表する彫金家が指導　「線象嵌」専門講座を開講

山梨県（知事　長崎幸太郎）は、県内のジュエリー職人等を対象に、日本を代表する彫金家の飯野一朗氏を講師に迎え、彫金の伝統技法である象嵌（ぞうがん）と、『大根おろし』を用いた日本独自の銅合金の着色方法を習得する講座を開講します。

今回は、難易度が高い極細線をはめ込む線象嵌の講座を実施し、職人の技術力向上と県産ジュエリーの高付加価値化を図ります。

１　日　程　令和８年９月８日（火）、９月９日（水）、９月１５日（火）、９月１６日（水）
※取材可能な日時については、別紙を参照してください。

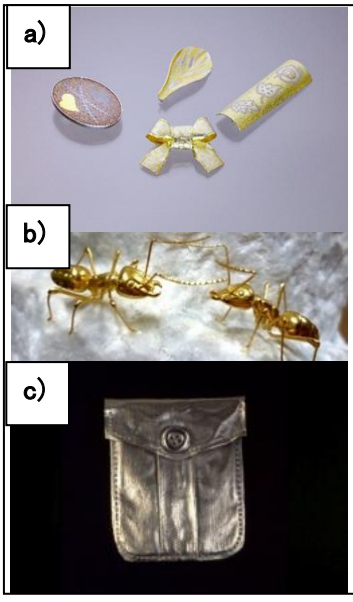
２　場　所　山梨県立宝石美術専門学校（甲府市丸の内１丁目 16-20　ココリ７・８階）

３　講　師　飯野　一朗　氏

山梨県立宝石美術専門学校校長、東京藝術大学名誉教授、彫金家。東京藝術大学大学院美術研究科彫金専攻修了。1976～2017 年まで同大で彫金の指導に携わり、2018 年４ 月より現職。日本ジュエリー展ジュエリー大賞、日本クラフト展クラフト賞ほか、受賞多数。「ジュエリーデザインアワード」審査委員長、「国際コイン・デザイン・コンペティション」審査委員などを務める。百貨店などで個展を開催し、作品は、The Metropolitan Museum of Art をはじめとして、国内外の美術館に所蔵されている。

４　象嵌と色金の技法および彫金・着色の一例

象嵌や色金（いろがね）の技法は刀剣装飾と共に発展し、西洋のジュエリーとは異なる独特の美を育んできました。銅に金や銀などの割金（わりがね）を加えて合金化し、煮色着色（にしょくちゃくしょく）を施すことで、独特の色調が生まれます。微妙な色調や陰影の表現方法と着色の過程で『大根おろし』に漬け込むユニークな技法は、海外からも高い評価を受けています。

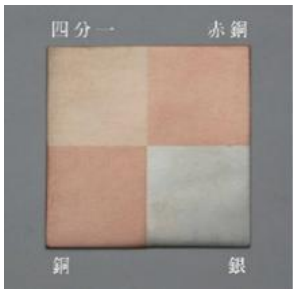


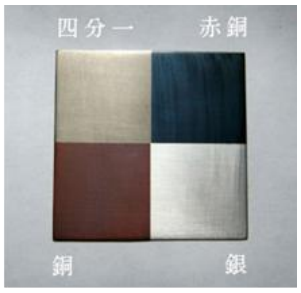
講師作品

a)平象嵌・線象嵌・打込み象嵌等様々な伝統技法を現代的解釈に取り込みながら制作された、遊び心溢れる作品の数々

b)アリアリ
銀・金メッキ・大理石
上野駅ジュエリーブリッジ上　設置　※作品の一部拡大

c)銀ブローチ
東京藝術大学大学美術館　蔵





各種色金及び着色の例
左　着色前、右　着色後

問い合わせ先
山梨県産業政策部産業振興課　担当　上垣
TEL:055-223-1543　FAX:055-223-1547

別紙

1 取材について

教室スペース・実習等の都合により、**第1回（9月8日（火））**と**第4回（9月16日（水））**のみ取材をお受けします。

2 講座日程(全体)

講座日時	講座概要	実習内容
第1回　9月8日（火） 13:30～16:30	講義：象嵌概論	①飯野一朗作品紹介 ②象嵌の種類と特徴 ③色金について ④実習内容の説明及びデザイン考察
第2回　9月9日（水） 9:30～12:30	実習「線象嵌①」	①デザイン確認 ②タガネ制作（剣先タガネ・ならしタガネ） ③デザイン画転写 ④溝彫り ⑤嵌め込み
第3回　9月15日（火） 13:30～16:30	実習「線象嵌②」	①仕上げ（ヤスリ・炭研ぎ） ②煮色着色について
第4回　9月16日（水） 9:30～12:30	色揚(いろあ)げ実習	①煮色着色（受講生が製作した作品に仕上げの**大根おろし**に漬け込む着色を実施） ※漬け込みから仕上げまで要1時間程度 ②色留め ③講評